

2020年1月期 第2四半期 決算説明資料

2019年9月11日



FY20 Q2 Summary

— 前年比 —

単位：百万円

	FY20 Q2	FY19 Q2	対比	
売上高	331	251	+79	+31.7%
売上総利益	72	59	+12	+20.3%
営業利益	△91	△101	+9	—
経常利益	△93	△100	+6	—
四半期純利益	△99	△101	+2	—

単位：百万円

	FY20 Q2	FY19 Q2	対比
売上原価	259	191	+67 +35.2%
製品売上原価	153	81	+72 +87.9%
製造原価	105	109	△4 △4.2%
販管費	163	161	+2 +1.5%

前年同期と比較して

- ・ 売上の増加及び原価率の増加により、製品売上原価が増加しました。

※製造原価には、主に労務費、経費、ソフトウェア開発に伴う他勘定振替高が含まれております。

単位：百万円

	FY20 Q2	FY20予想	進捗率
Hospitality市場	123	464	26.5%
Enterprise市場	81	103	78.6%
IoTソリューション	205	567	36.2%
IT技術	87	161	54.0%
ITサービス	38	159	23.9%
合計	331	888	37.3%

FY20 Q2 Summary

— 予想比 —

単位：百万円

	FY20 Q2 実績値	予想値	対比
売上高	331	333	△2 △0.8%
営業利益	△91	△69	△22 —
経常利益	△93	△70	△22 —
四半期純利益	△99	△70	△28 —

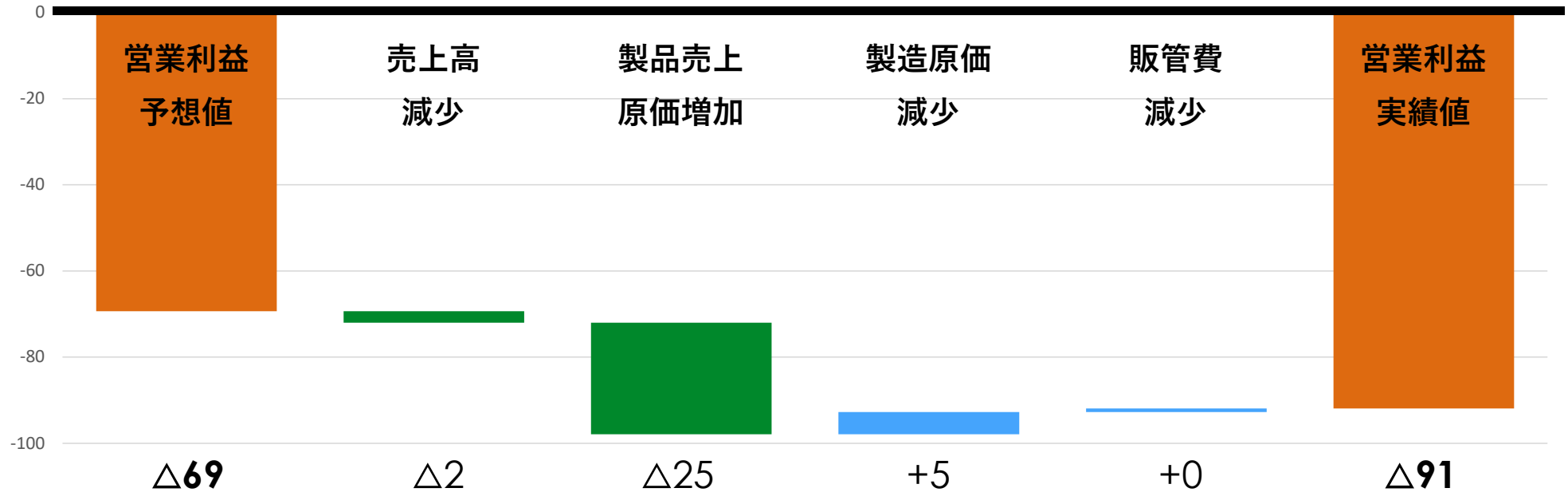
- ・ 営業利益・経常利益

製品売上原価の増加等により予想値を下回りました。（次ページ参照）

- ・ 四半期純利益

上記に加え、本社オフィスに製品デモルームを設置するためのオフィス改装を行い、既存固定資産の除却損を計上したことにより予想値を下回りました。

単位：百万円



製品売上原価の増加

主にデジタルサイネージの販売に際して、第3四半期以降の月額収益の増加を優先する販売活動を行ったこと等により、製品売上原価が増加いたしました。

FY20 Q2 TOPICS

- ① デジタルサイネージ事業の事業拡大 (Q3 New Platform投入)
- ② サブスクリプションモデルのラインナップ充実 (サイネージ)
- ③ クラウドプラットフォームへの集中投資を実施
(VOD、サイネージプラットフォーム配信サーバー)
- ④ P3(Platform & Planning Products)社との本格営業開始
- ⑤ NGH(ホテル向けオンデマンドサービス)販売プロモーション
- ⑤ 自動チェックイン端末 (レジヤ施設、ホテル仕様の販売計画)
- ⑥ ITソリューション事業強化 (Cisco Meraki MSPパートナー)
- ⑦ シンガポール IoT事業本格スタート
(Smart IoT Industry 4.0 ソリューション)

デジタルサイネージ事業の事業拡大 (Q3 New Platform投入予定) (仮称：マルチサイネージルーティングサービス)



店舗

オートチェックイン
システム



アウトドア



サイネージ
ルーティングサービス



Taxi



サブスクリプションモデルのラインナップ充実 (Q3~)

サイネージマルチデバイスによる収益構造の変化 (月額1980円~)



クラウドプラットフォームへの集中投資を実施

他社とは違うCMS・サインージデバイスの自社開発によるワンストップサービスの提供

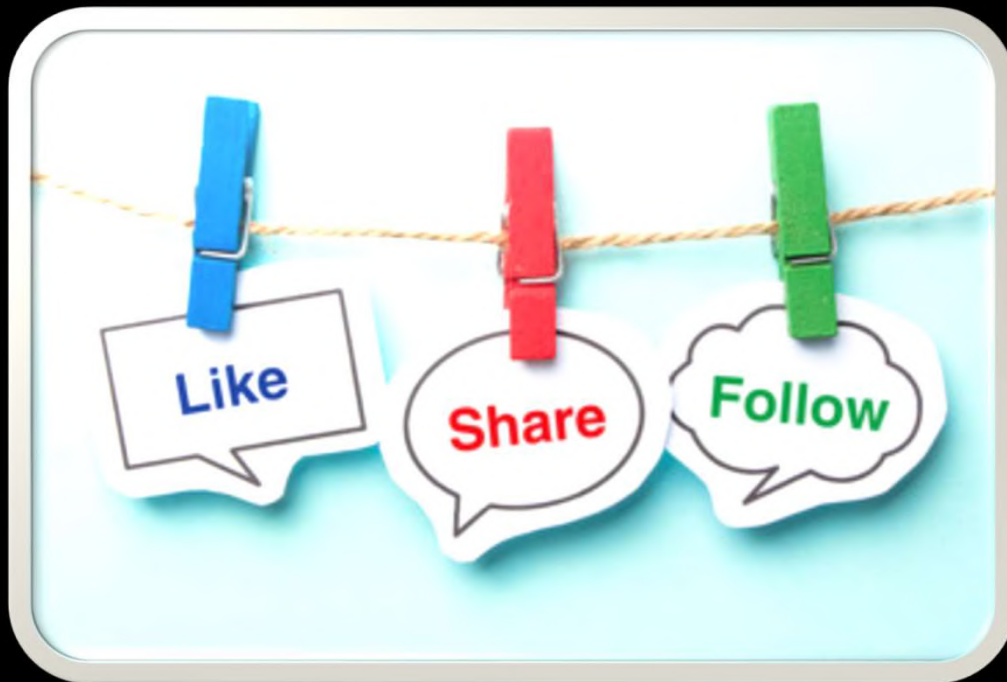
フレキシブルなサービス提供と国内でのSWコードメンテナンスを保証



P3(Platform & Planning Products)社との本格営業開始

メディアオーナーとモノ創り集団の英知を結集し新サービスを展開

メディアオーナーとモノ創りのコラボレーション P3+トランザス=



匠の技

NGH(ホテル向けオンデマンドサービス)販売プロモーション

メイニシャルを最小限に抑えた次世代VOD,広告連動サービス開始

某大手ホテルチェーン様導入決定



自動チェックイン端末（レジヤ施設、ホテル仕様の販売計画）

省人化に向けた顔認証チェックイン端末の開発



ITソリューション事業強化

Cisco Meraki MSPパートナーとトランザスのIoTソリューションの展開

Merakiとトランザスの開発するIoT技術の融合



シンガポール子会社 IoT事業本格スタート

Smart IoT Industry 4.0 ソリューションによるビル全体のインテリジェント制御



OFFICE

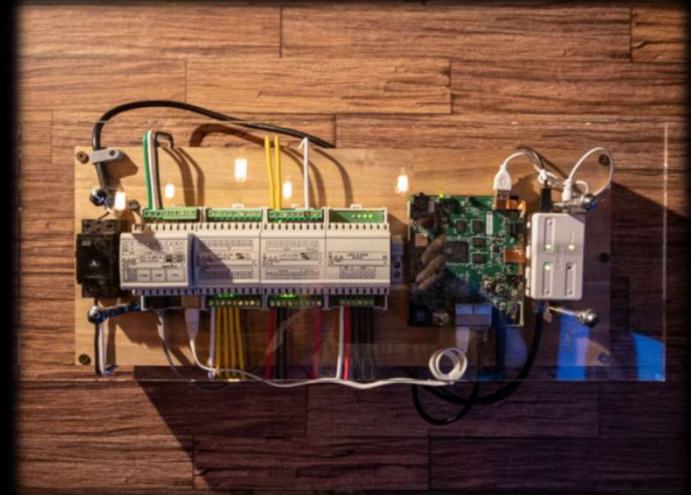



HOTEL



トランザス IoT プロダクトショールーム開設

デジタルサイネージ、NGH、IoTコントローラー、顔認証システム等デモルーム





お客様と株主の皆様への感謝と成功に向けて
Take Off

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標等が記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されております。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しております。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

TRANZAS, Inc.

23:35:60

Business Strategy
Innovation
Branding
Solution
Marketing
Analysis
Ideas
Success
Management

23:35:60